

＜参考情報＞ 特別支援学校の豪雨被害についての概況

岡山県立倉敷まきび支援学校は、倉敷市北部にある開校5年目の知肢併置の新設校です。7/10の豪雨により校舎水没の被害を受けました。校長会長（全肢長会）として、本校他で募った義援金や支援物資をお届けしに8/10に被災校を訪問しましたところ、想像を超える状況でした。その際に撮影した写真の抜粋を以下に掲載します。

9/7（金）10時に本校で開催の「医療的ケアに関する2事業の経過説明会」（本紙表面参照）ので緊急報告として「被災校の状況」を詳しく御説明しますので、御都合のつく方はどなたでも御参加ください。



御支援への御礼 と 今後の支援活動への御協力をお願い

本校では、7/21開催の「かやかやなまつり」での募金や教職員から、何と16万円を超える義援金が集まりました。これが発端となり、「関肢P新島大会」「全病研・全病P連茨城大会」「関肢研栃木大会」「全肢教頭東京大会」「全肢P福井大会」の各大会でも積極的に募金活動が行われました。さらに全国の有志校からも義援金が寄せられました。8/10までに全国校長会の義援金口座に寄せられた義援金第1弾として約50万円を岡山に持参し、関係校にお届けしてきました。

あらためまして本校のPTAと教職員が率先して行動して下さったことに深く感謝を申し上げます。

まきび支援学校の肢体部門は、9/3から暫定的に近隣の県立早島支援学校（病・肢併置）に移って、教育再開とのことです。知的部門は、学部別に別の学校に分散して再開とのことです。本校からの支援物資（クッションチェアや三角マット等約30個）は早島支援学校に直にお届けしました。しかし、被災校では教材・教具、教科書・図書、私物・生活用品等は水没してしまい、教育活動の正常化にはまだまだ時間がかかる状況と推察しています。全国の特別支援学校とPTAがつながって、被災校のニーズにフィットした息の長い支援活動をしていく必要があります。

本校といたしましても、PTAの皆様と連携をさせていただきながら、募金活動など継続的な支援を行ってまいります。ご協力よろしくお願いたします。

＝ 上記9/7の説明会会場にも募金箱を設置します。お志のある方は御協力ください。＝